

柳やなぎ

2022年(令和4年)
2月22日(火)
NO. 15

年度末アンケートの結果

保護者の皆様にご協力いただきました、「学校教育努力目標に関するアンケート」を集計しましたので、報告させていただきます。この結果を基に、本年度の取組を見直し、よりよい学校づくりに向けて、努力していきたいと思っております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

A: そう思う B: おおむねそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

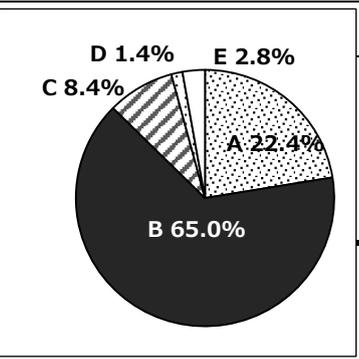
項目	回答数	回答総数に占める割合(%)
----	-----	---------------

「豊かな心の育成」に迫るための教育活動について

○ 交友の輪を広げる特別活動

- ・児童会主催の児童集会
- ・学年・学級全体で遊ぶ機会の設定
- ・交友の輪を広げる活動

A	48
B	139
C	18
D	3
E	6

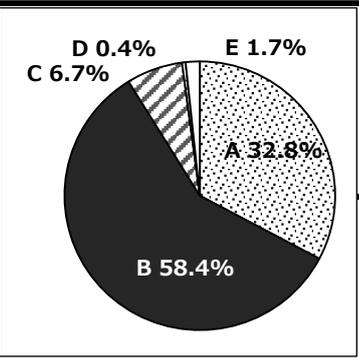


AB合わせて87.4%(前年比+2.3)という結果でした。今年度もコロナ禍で、子どもが直接的にふれあう機会を多くもつことが難しかったですが、児童会の工夫により、校内テレビ放送などで、交流することができたことは、大変よかったと思います。また、「柳っ子祭」では、上学年と下学年の子が、仲良くふれあう姿も見られました。日ごろも、運動場で学年を越えて楽しく遊ぶ姿をほほえましく思います。相手を思いやる姿を育めるよう今後も指導していきます。

○ 思いやりの心を育てる運動

- ・「あいさつ運動」の継続
- ・「学校生活アンケート」をもとにした教育相談
- ・いじめのない学校づくり(ING運動)

A	78
B	139
C	16
D	1
E	4



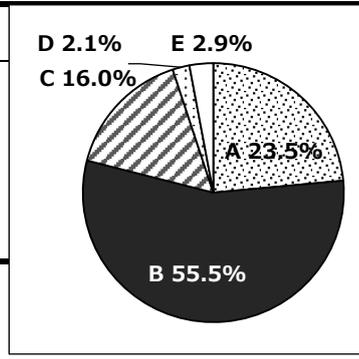
AB合わせて91.2%(前年比+5.3)という結果でした。高評価に日頃の取組にご理解をいただけたことと思います。年間2回の学校生活アンケートやhyper-Qu、教育相談を通して子ども心の様子をつかみ、子どもたちが安心して過ごせるよう、日々心がけています。優しさや思いやりの気持ちの大切さに気付いて行動できる子どもを育てることができるよう、今後も全ての職員で見守ってきたいと思います。

「確かな学力の育成」に迫るための教育活動について

○ 学校努力点「なかまと学び深める柳っ子の育成」

- ・主体的・対話的な活動を重視した授業づくり
- ・わかったことや次にやってみようことなどを振り返り、学びを深める授業づくり

A	56
B	132
C	38
D	5
E	7



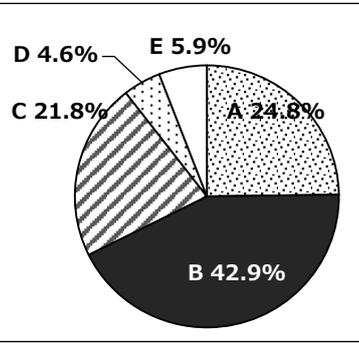
AB合わせて79%(前年比+1)という結果でした。今年度は「振り返り」を重視して授業を工夫して行きました。単元を振り返ることで次時への思いをもち、より豊かな学びの質に高めることができるようになってきました。

特にタブレットのロイロノートの機能を活用した意見交換では、友達の考えを共有することで、そこから共通点や相違点などを比較するなどして、考えを深めることができました。今後の努力点の取組にも大いに生かしていきたいと考えています。

○ ICT機器の活用

- ・動画配信
- ・デジタル教科書の活用
- ・一人に1台タブレットによる学習活動 等

A	59
B	102
C	52
D	11
E	14



AB合わせて79%(前年比+1)という結果でした。今年度は「振り返り」を重視して授業を工夫して行きました。単元を振り返ることで次時への思いをもち、より豊かな学びの質に高めることができるようになってきました。

AB 合わせて 67.7%という結果でした。タブレットを扱うことにも慣れ、家庭学習にも活用できるようになってきました。デジタル教科書を活用した授業、キュビナを用いた個人に合わせた学習なども進めています。

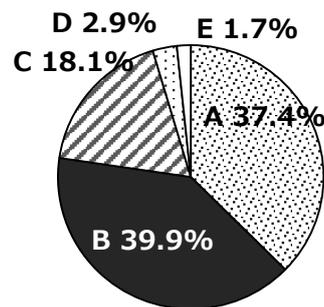
また、スクールライフノートで毎日、その日の気持ちを伝えることで、先生との会話が広がったり、悩みがあれば相談する糸口となったりしています。ICT 機器がより有効に活用されるよう指導も充実していきたいと思ひます。

「健康な体の育成」に迫るための教育活動について

○ 体を動かしたくなるような取組

- ・ 休み時間の遊具の貸し出し
- ・ 体育集会、休み時間のイベント
- ・ なわとびカードを通して、外遊びの推進

A	89
B	95
C	43
D	7
E	4

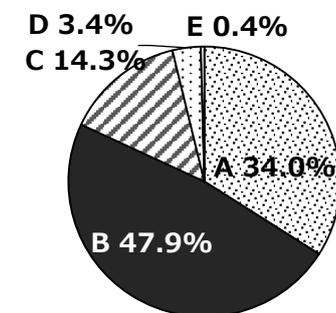


AB 合わせて77.3%という結果でした。休み時間になると、運動場で元気よく体を動かす子がとても多いと感じます。なわとびをしたり、鬼ごっこをしたり、様々ですが、健康に過ごす様子が見られます。今年度は、コロナ禍の影響もあり、体育集会や休み時間のイベントが思うようにできませんでした。今後、コロナ禍が収まり、集会などで子どもがカー一杯体を動かせる環境作りができるとよいと考えます。今後も知・徳・体のバランスがとれた教育活動を進めていきます。

○ 歯の健康を守る取組

- ・ 毎日の歯みがきや歯の健康を守る活動
- ・ 歯みがきカード、歯みがきカレンダーの活用

A	81
B	114
C	34
D	8
E	1

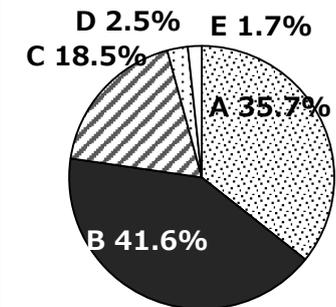


AB 合わせて 81.9%(前年比-2.5)という結果でした。歯の健康を守る指導の一環として、食後の歯みがき指導を推進しています。今年度もコロナ禍でしたので、歯みがき指導では、染め出しをしたり、歯ブラシを動かしながら直接指導することができませんでした。来年度は、子どもが成果を実感できる歯みがき指導ができるとよいと考えます。そんな中でも、歯みがきカレンダーの取組や 1, 2 年生の保護者向けに行った120運動(学校歯科医の先生の動画配信)はとても有意義だったと思ひます。また、全日本学校歯科保健優良賞の表彰を受けるなど保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

○ 食育・栄養指導の推進

- ・ 食育や栄養に関する指導
- ・ 給食だよりを通して、給食の献立や栄養についてのお知らせ

A	85
B	99
C	44
D	6
E	4



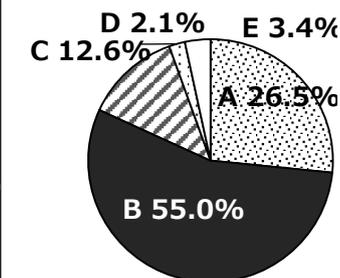
AB 合わせて 77.3%(前年比+6.6)という結果でした。今年度は、6 年生が、独自献立を考え、和食に採用し、みんなで食の楽しさやよさを感じる機会もありました。また、今年度は各クラスにも、栄養教諭が授業に入るなど、栄養指導も充実することができました。今後も、食育・栄養指導の充実を図ります。

「家庭・地域と手をとった学校教育の推進」のための取り組みについて

○ 家庭や地域と連携して取り組む活動

- ・ 通学路を中心とした「子ども110番の家」の充実

A	63
B	131
C	30
D	5
E	21



AB 合わせて 81.5%(前年比+15.8)という結果でした。「柳子ども 110 番の家」については、140 軒を超える参加のご協力をいただくことができました。感謝申し上げます。子どもの安心と安全は家庭と地域と学校の連携が充実してこそだと思ひます。今後も、信頼ある学校を築きあげ、家庭と地域と学校が連携を一層深めることで、子どもの安全を守ることができるようになっていきたいと思ひます。

